

# レバレッジ・インバース型ETF

## のご紹介



レバレッジ型・インバース型ETFの特徴を簡単にご紹介しよう。

### レバレッジ型

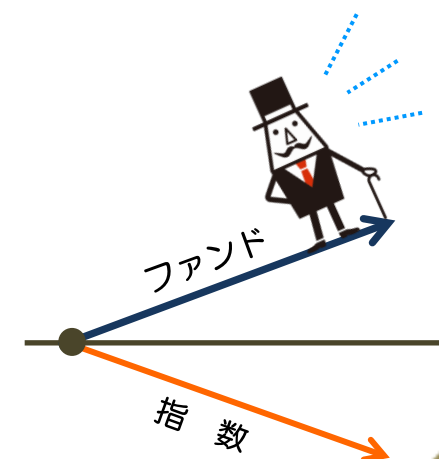
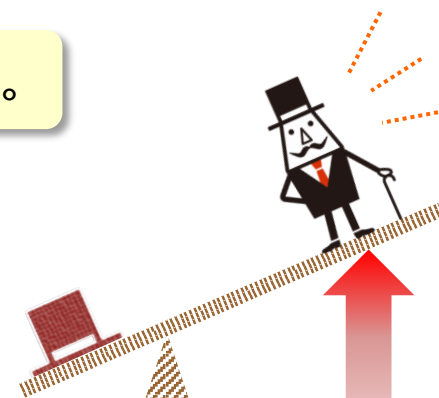
**LEVERAGE** : 「てこの力、てこの作用」

少ない資金で利益率を高める投資手法じゃ。  
日々の値動きが日経平均株価などの原指標の  
2倍の値動きをめざしておるぞ。

### インバース型

**INVERSE** : 「逆の、反対の」

原指標の逆方向に動く手法じゃ。  
インバース型には、日々の値動きが原指標の  
マイナス1倍、マイナス2倍の値動きをめざすタイプがあるぞ。



※上記は、イメージです。

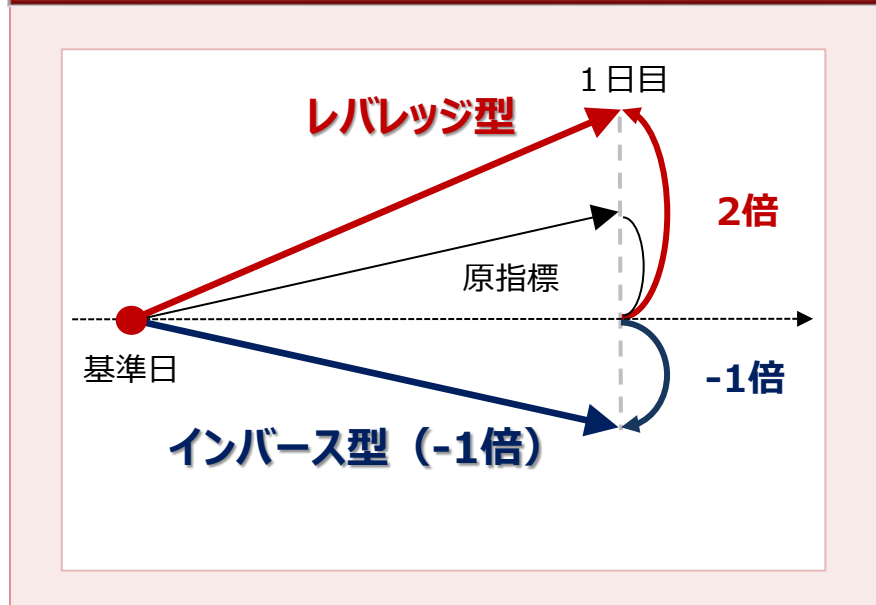
お申込みの際は「投資信託説明書（交付目論見書）」および「契約締結前交付書面」等の内容をよくお読みください。

# レバレッジ・インバース型ETFの値動き①

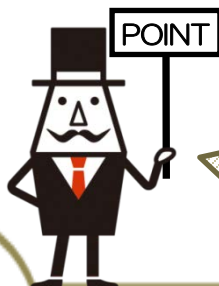
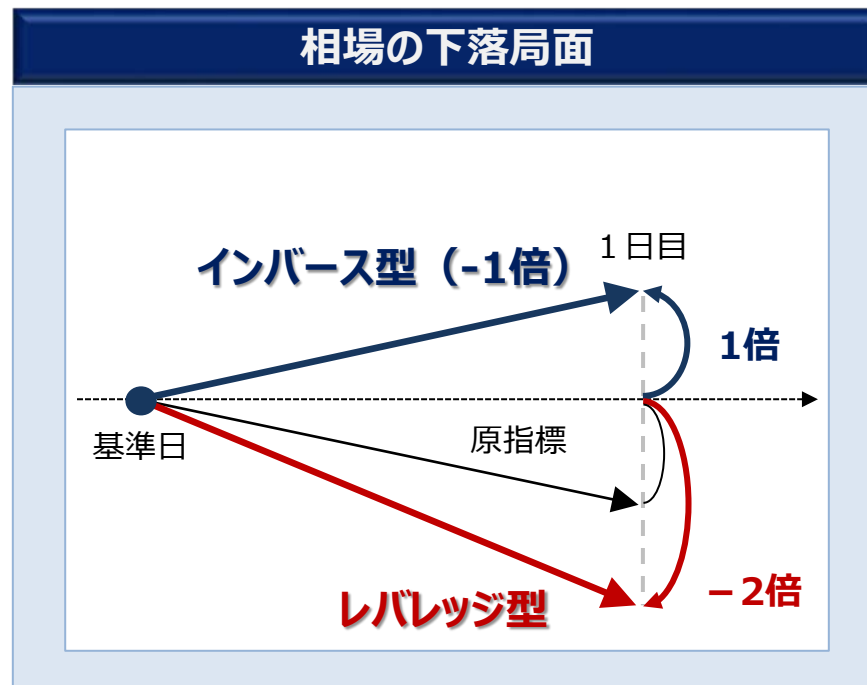


レバレッジ型とインバース型 (-1倍) の1日の値動きをご覧ください。

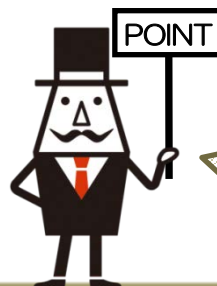
## 相場の上昇局面



## 相場の下落局面

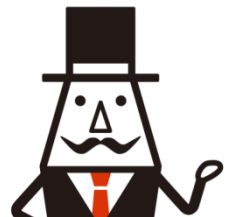


レバレッジ型ETFは日々の騰落率が、原指標の騰落率の2倍の動きとなることをめざしておるぞ。相場の**上昇局面**で収益を追求する商品じゃ。



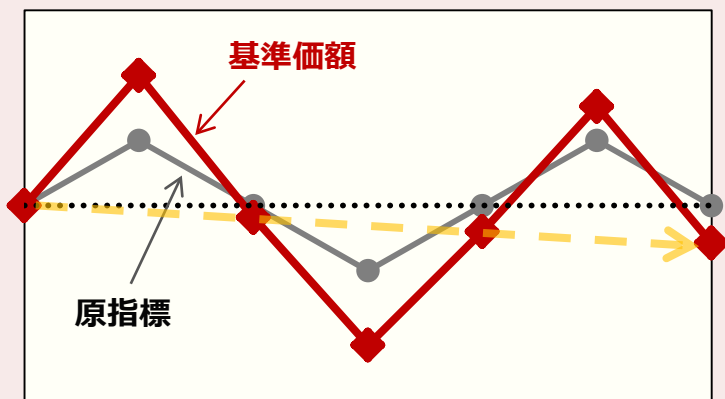
インバース型ETFは日々の騰落率が、原指標の騰落率の-1倍の動きとなることをめざしておるぞ。相場の**下落局面**で収益を追求する商品じゃ。

# レバレッジ・インバース型ETFの値動き②



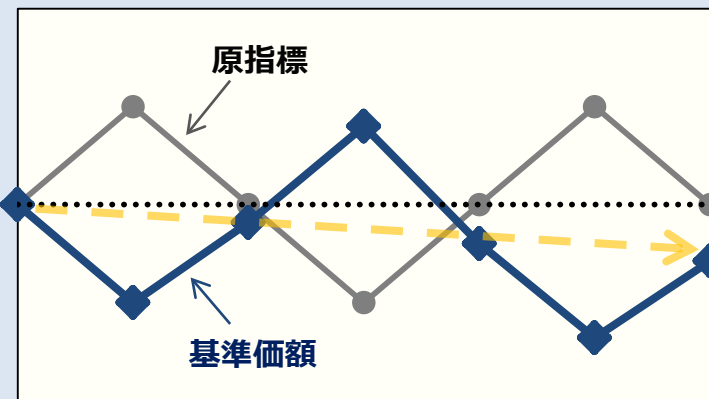
レバレッジ型とインバース型 (-1倍) の2日以上<sup>の</sup>値動きをご覧ください。

## レバレッジ型の値動きのイメージ

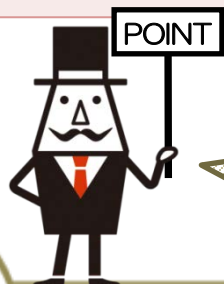


	基準日	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目
原指標	100	110	100	90	100	110	100
基準価額	100	120	98	79	96	115	94

## インバース型(-1倍)の値動きのイメージ



	基準日	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目
原指標	100	110	100	90	100	110	100
基準価額	100	90	98	108	96	86	94



レバレッジ・インバース型ETFは、前日からの値動きに対する運用成果を狙うものじゃ。  
2日以上保有した場合、ファンドの保有期間を通しての運用成果が2倍や-1倍になるわけではないじゃ。  
一般的には株式市場が上昇・下落をしながら動いた場合には、  
保有期間が長くなるほど大きく押し下げられる傾向があるから注意が必要じゃ。

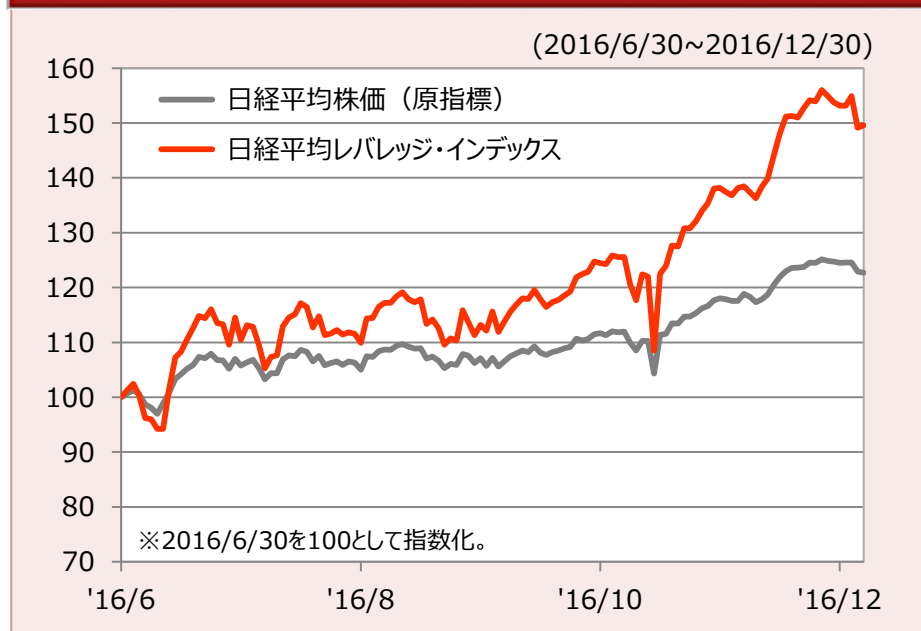
※上記は、イメージです。

# レバレッジ・インバース型ETFの値動き③

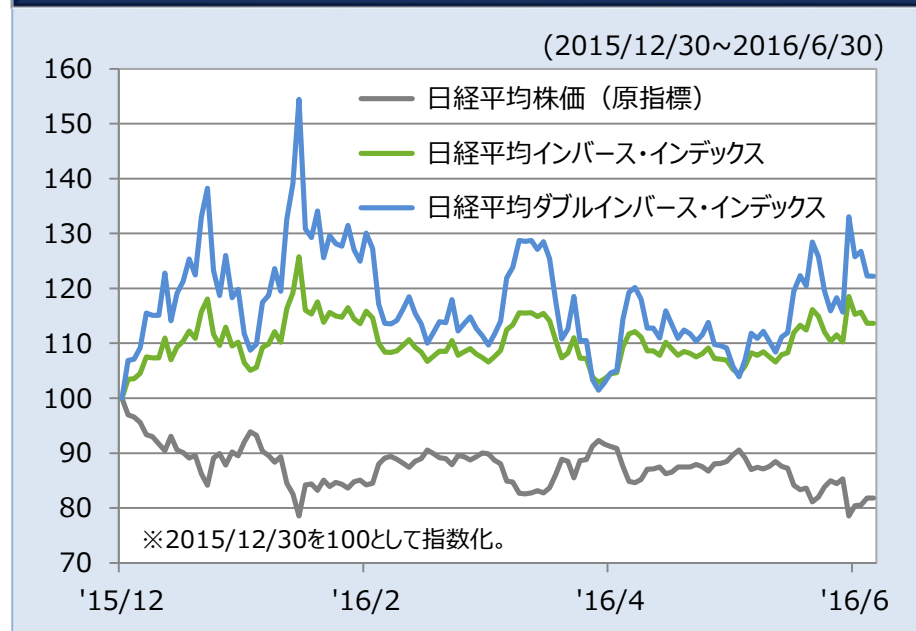


レバレッジ型とインバース型ETFの実際の値動きをご覧ください。

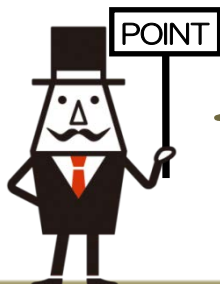
## 上昇局面における基準価額の推移



## 下落局面における基準価額の推移



(出所)ブルームバーグ



ETFであれば市場が開いている間はリアルタイムの売買が可能じゃ。  
「今が買い」「今が売り」と自分の相場観で機動的に売買ができるのが魅力じゃ。

※上記グラフのファンド名称は「ダイワ上場投信」を省略しています。  
※ファンドの基準価額の計算において、運用管理費用（信託報酬）は控除しています（「ファンドの費用」をご覧ください）。

# 株式市場の局面に応じた様々なラインナップ

- ダイワ上場投信は、日本株におけるレバレッジ・インバース型ETFを多く取り揃えております。

## 日本株の上昇局面で有効な運用手法

商品性	ファンド名称	銘柄コード	原指標
<b>1倍</b> 株価指数に連動をめざす	ダイワ上場投信 - 日経225	1320	日経平均株価 (日経225)
	ダイワ上場投信 - トピックス	1305	TOPIX (東証株価指数)
	ダイワ上場投信 - JPX日経400	1599	JPX日経インデックス400
<b>レバレッジ型 2倍</b> 変動率が、原指標の <b>日々の変動率 (%) の「2倍」</b> になるように算出された指数に連動をめざす	ダイワ上場投信 - 日経平均レバレッジ・インデックス	1365	日経平均株価
	ダイワ上場投信 - TOPIXレバレッジ (2倍) 指数	1367	TOPIX
	ダイワ上場投信 - JPX日経400レバレッジ・インデックス	1464	JPX日経インデックス400

## 日本株の下落局面で有効な運用手法

商品性	ファンド名称	銘柄コード	原指標
<b>インバース型 -1倍</b> 変動率が、原指標の <b>日々の変動率 (%) の「-1倍」</b> になるように算出された指数に連動をめざす	ダイワ上場投信 - 日経平均インバース・インデックス	1456	日経平均株価
	ダイワ上場投信 - TOPIXインバース (-1倍) 指数	1457	TOPIX
	ダイワ上場投信 - JPX日経400インバース・インデックス	1465	JPX日経インデックス400
<b>ダブル インバース型 -2倍</b> 変動率が、原指標の <b>日々の変動率 (%) の「-2倍」</b> になるように算出された指数に連動をめざす	ダイワ上場投信 - 日経平均ダブルインバース・インデックス	1366	日経平均株価
	ダイワ上場投信 - TOPIXダブルインバース (-2倍) 指数	1368	TOPIX
	ダイワ上場投信 - JPX日経400ダブルインバース・インデックス	1466	JPX日経インデックス400

# ファンドの費用

ダイワのETFはレバレッジ・インバース型以外でも豊富なラインナップを取り揃えております。

くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。



銘柄名	投資者が直接的に負担する費用			投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	購入および 取得時手数料	信託財産 留保額	交換および 換金時手数料	運用管理費用（信託報酬）		その他の費用・手数料
				料率	費用の内容	
トピックス	販売会社が定めるものとします。  《費用の内容》 取得時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。	ありません。	販売会社が定めるものとします。  《費用の内容》 受益権の交換に関する事務等の対価です。	イ. 年率0.1188% (税抜0.11%)	ロ. 信託財産に属する株式の貸付けにかかる品賃料に54%(税抜50%)以内の率を乗じて得た額	●受益権の上場にかかる費用および対象株価指数の商標の使用料(商標使用料)ならびにこれらにかかる消費税等に相当する金額は、受益者の負担とし、信託財産中から支弁することができます。ただし、各計算期間において、信託財産中から支弁する受益権の上場にかかる費用および商標使用料の合計額は、信託財産の純資産総額に年率0.0648%(税抜0.06%)を乗じて得た額を超えないものとします。 ●有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、監査報酬等を信託財産でご負担いただきます。
日経225				イ. 年率0.1728% (税抜0.16%)		
トピックス・コア30				イ. 年率0.2376% (税抜0.22%)		
東証電気機器株価指数				イ. 年率0.2376% (税抜0.22%)		
東証銀行業株価指数				イ. 年率0.2376% (税抜0.22%)		
JPX日経400				イ. 年率0.1944% (税抜0.18%)		
TOPIX Ex-Financials				イ. 年率0.1944% (税抜0.18%)		
東証REIT指数				イ. 年率0.1674% (税抜0.155%)		
MSCI日本株 人材設備投資指数				イ. 年率0.162% (税抜0.15%)		
TOPIX-17シリーズ 連動型				イ. 年率0.1944% (税抜0.18%)		
レバレッジ・インバース型	販売会社が独自に定めるものとします。  《費用の内容》 購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。	販売会社が独自に定めるものとします。  《費用の内容》 換金に伴う取引執行等の対価です。	年率0.81%(税抜0.75%)  《費用の内容》 運用管理費用の総額は、毎日、信託財産の純資産総額に対して上記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎計算期間の最初の6か月終了日および毎計算期末または信託終了のときに信託財産中から支弁します。	●受益権の上場にかかる費用および対象指数の商標の使用料(商標使用料)ならびにこれらにかかる消費税等に相当する金額は、受益者の負担とし、信託財産中から支弁することができます。 ●有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、監査報酬等を信託財産でご負担いただきます。		

ダイワ上場投信

- 売買委託手数料などの「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。
- 購入および取得時手数料・交換および換金時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせください。
- 手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。また、上場投資信託および上場不動産投資信託は市場価格により取引されており、費用を表示することができません。
- レバレッジ・インバース型については、換金制限（信託財産の資金管理を円滑に行なうために大口の換金申込みには制限を設ける場合があります。）があります。

# 投資リスク・当資料のお取扱いにおけるご注意

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

## ■ 投資リスク

ETFは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の変動要因については次の通りです。

- 株価指数先物取引の利用に伴うリスク
- 株価の変動(価格変動リスク・信用リスク)
- リートの価格変動(価格変動リスク・信用リスク)
- 公社債の価格変動(価格変動リスク・信用リスク)
- その他(解約申込みに伴うリスク等)

※基準価額の動きが指数と完全に一致するものではありません。※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。  
※TOPIX-17シリーズ連動型については、一銘柄の組入比率が高くなる場合があります。

投資には  
リスクもつきものじゃ。



## ■ 当資料のお取扱いにおけるご注意

- ETFのお申込みにあたっては「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は投資者保護基金の対象ではありません。
- 分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。

## ■ 当資料で使用した指数等について

- 日経平均株価に関する著作権、知的所有権、その他一切の権利は株式会社日本経済新聞社に帰属します。株式会社日本経済新聞社は日経平均株価を継続的に公表する義務を負うものではなく、その誤謬、遅延または中断に関して責任を負いません。

### ●当資料では以下のファンドの総称を「TOPIX-17シリーズ連動型」とします。また各ファンドの略称は「ダイワ上場投信・TOPIX-17」を省略しています。

「ダイワ上場投信・TOPIX-17 食品、エネルギー資源、建設・資材、素材・化学、医薬品、自動車・輸送機、鉄鋼・非鉄、機械、電機・精密、情報通信・サービスその他、電力・ガス、運輸・物流、商社・卸売、小売、銀行、金融(除く銀行)、不動産」

### ●当資料では以下のファンドの総称を「レバレッジ・インバース型」とします。

「ダイワ上場投信-日経平均レバレッジ・インデックス」、「ダイワ上場投信-日経平均インバース・インデックス」、「ダイワ上場投信-日経平均ダブルインバース・インデックス」、「ダイワ上場投信-TOPIXレバレッジ(2倍)指数」、「ダイワ上場投信-TOPIXインバース(-1倍)指数」、「ダイワ上場投信-TOPIXダブルインバース(-2倍)指数」、「ダイワ上場投信-JPX日経400レバレッジ・インデックス」、「ダイワ上場投信-JPX日経400インバース・インデックス」、「ダイワ上場投信-JPX日経400ダブルインバース・インデックス」

大和証券投資信託委託株式会社はETFについて、直接、投資者の皆さまのお申込みを承っておりません。ETFの投資にあたっては、最寄りの取扱い第一種金融商品取引業者（証券会社）に口座を開設になり、お申込みください。

設定・運用は…

**大和投資信託**  
Daiwa Asset Management

〈委託会社〉

商号等 大和証券投資信託委託株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号  
加入協会 一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会